

# 「認知症」早めにご相談を!!

思い当たる「もの忘れ」の症状を  
チェックしてみましょう。

「認知症」は、誰にでも起こりうる脳の疾患です。  
早期に診断し上手に対応していけば、その後の経過や介護の負担も変わってきます。  
「年のせい・・・。」と受診をためらわず、不安なことがある時には早めにご相談ください。

## 記憶



同じことを何度も話したり、  
同じ物を何度も買って来る  
ようになった

## 意欲



何となく元気がなかったり、  
興味や関心を示さな  
くなった

## 実行



今までできていたことが、  
できなくなったり、  
慣れた道具の使い方が  
わからなくなった

## 不安



ささいなことで怒ったり、  
不安を抱くようになった

思いあたることがあるときは、かかりつけ医または市町村高齢福祉担当課、  
介護保険担当課、地域包括支援センターまでお気軽にご相談ください。

## “加齢に伴うもの忘れ”と“認知症によるもの忘れ”の違い

「人の名前が出てこない」「ものの置き場所を忘れる」などといったもの忘れは、  
年をとれば大なり小なり誰もが経験します。  
たとえば、昨日の朝食のメニューを思い出せないことはよくありますが、認知症になると、  
朝食を食べたこと自体を忘れ、「朝食を食べてない」と言うことがあります。



### 加齢に伴うもの忘れ

- 体験したことの一部を忘れる
- もの忘れを自覚できる
- ヒントを出すと思い出せる
- 年次や日付、曜日を間違えることがある
- 日常生活に大きな支障はない

### 認知症によるもの忘れ

- 体験したこと自体を忘れる
- もの忘れを自覚できない
- ヒントを出しても思い出せない
- 年次や日付、季節がわからなくなる
- 日常生活に支障が出る